

地域を守ろう！田んぼダムで流域治水！！

流域治水とは？

河川などの氾濫による水災害を防ぎ、水を制御することを「治水」といいます。これまでも、河川堤防の整備やダムの建設・再整備などの治水対策により、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策が行われてきました。

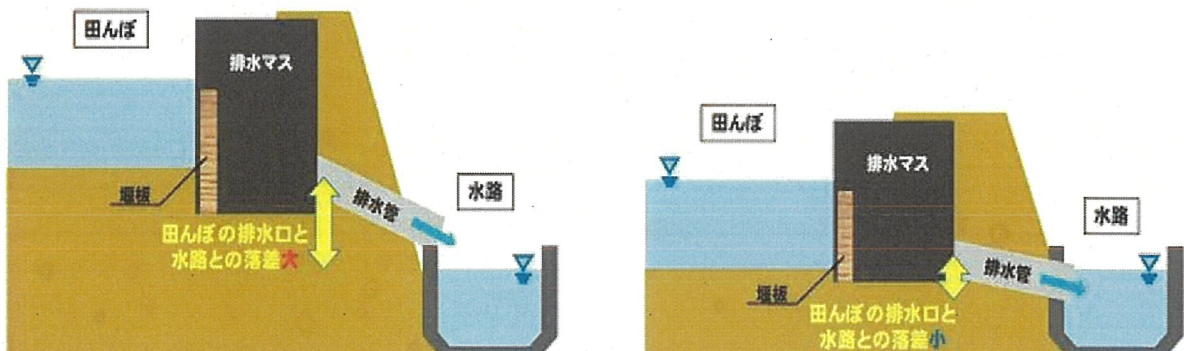
田んぼダムって何？

「田んぼダム」とは、水田からの初期排水量を抑制する（一時的に田んぼを小さなダムとして活用する）ことで、取組実施地域やその下流域の浸水被害リスクを低減する流域治水の取組みの1つです。（局地的な長時間にわたる大雨の際に、効果を発揮する）



田んぼダムの仕組みは？

「田んぼダム」は、水田の排水口や柵に排水量を抑えるために穴の開いた調整板などを取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水する取組です。



「田んぼダム」の取組は、いつ行うの？

水田を乾かしたい時期、移植直後や穂ばらみ期のような高い水位での湛水を望まない時期などは、通常の栽培管理を優先して構いません。稲の生育に影響のない範囲で、状況に応じて取組を行います。

「田んぼダム」取り組むのは大変なの？

排水マスを設置したり、元々ある堰板に加工した堰板をはめるだけでも取り組めます。また、畔が水を貯めても安全な状態になっているか、排水を調整する設備の有無や排水路の流れに問題はないかなどを事前に確認してください。



田んぼダム用の排水マス（塩ビ管等を含む）や堰板を設置するうえで必要な原材料がある場合は、ご相談ください。